

第74回 人権週間

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標や基準を国際的にうたった画期的なものです。日本では「人権デー」と定められた12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」とし、全国的に啓発活動を展開して、広く国民に人権尊重思想の普及を呼びかけています。

いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別、ハンセン病問題、拉致問題など様々な人権問題が存在しています。

この週間をきっかけに一人ひとりが人権問題について考え、できることから取り組んでみませんか。

請求記号	資料コード	書名	著者名	出版年	出版者
367.2/ナト/	003956443	女性差別はどう作られてきたか	中村 敏子 // 著	2021.1	集英社
376/コト/	004017590	子どもの「じんけん」まるわかり	汐見 稔幸 // 著	2021.10	ぎょうせい
367.7/スヒ/	003924989	シニア六法	住田 裕子 // 監修 著	2020.8	KADOKAWA
378/ハツ/	003951037	発達障害・知的障害のための合理的配慮ハンドブック	土橋 圭子 // 編	2020.12	有斐閣
B361/ナエ/	003351940	被差別部落の暮らしから	中山 英一 // 著	2014.7	朝日新聞出版
361/オヒ/	003654747	ガイドブック部落差別解消推進法	奥田 均 // 編著	2017.7	解放出版社
361/トケ/	003473683	部落解放を考える	友永 健三 // 著	2015.9	解放出版社
Y/ミマ/	003223793	榎野川の藍	宮本 誠 // 著	2013.5	解放出版社
369.3/ナン/	003596895	難民を知るための基礎知識	滝澤 三郎 // 編著	2017.1	明石書店
211/イチ/	003833376	1時間でわかるアイヌの文化と歴史	瀬川 拓郎 // 監修	2019.6	宝島社
498.6/カヒ/	003951652	感染症と隔離の社会史	金川 英雄 // 著	2020.11	青弓社
T498/イト/	002313911	ハンセン病を生きて	伊波 敏男 // 著	2007.8	岩波書店
326/トハ/	003952927	囚われし者たちの国	バズ ドライシinger // 著	2021.1	紀伊國屋書店
B368/カソ/	003981767	僕とぼく	川名 壮志 // 著	2021.5	新潮社
007.3/サヨ/	003982309	ネット中傷駆け込み寺	佐藤 佳弘 // 著	2021.4	武蔵野大学出版会
391/アヨ/	004073115	北朝鮮拉致問題	有田 芳生 // 著	2022.6	集英社
391/ホロ/	003714571	「招待所」という名の収容所	ロバート S.ポイントン // 著	2017.9	柏書房
361/フシ/	003769734	ノマド	ジェシカ ブルーダー // 著	2018.10	春秋社
367.9/ミュ/	004003598	子どもと性の話、はじめませんか?	宮原 由紀 // 著	2021.7	CCCメディアハウス
367.9/コト/	004014072	子どもを育てられるなんて思わなかった	古田 大輔 // 編	2021.9	山川出版社
368/タミ/	003725209	売春島	高木 瑞穂 // 著	2017.9	彩図社
369.3/サン/	003970364	3.11を心に刻んで	岩波書店編集部 // 編	2021.3	岩波書店

展示期間: 令和4年11月25日(金)~12月10日(土)
山口市立中央図書館

主な人権課題

①女性
②子ども
③高齢者(認知症)
④障害のある人
⑤部落差別(同和問題)
⑥アイヌの人々
⑦外国人 ～ウクライナ避難民に関する取り組み～
⑧感染症 ～新型コロナウイルス～
⑨ハンセン病患者・元患者・その家族
⑩刑を終えて出所した人
⑪犯罪被害者等
⑫インターネットによる人権侵害
⑬北朝鮮当局によって拉致された被害者等
⑭ホームレス
⑮性的指向・性自認(性同一性)
⑯人身取引(性的サービスや労働の強要等)
⑰東日本大震災に起因する人権問題